

## ベンダ工業株式会社 製造業(自動車部品製造)／呉市

### ●「働きがい向上」による、次世代づくりに向けた取組をスタート

ベンダ工業は、健康経営を皮切りに働き方改革に着手しました。働きやすさの整備から働きがい向上へと取組をステップアップすべく、当社では第四次中長期経営計画である「1. 電動化商品や未来商品等の新たな商品群の獲得」「2. サステナブル経営の実現」「3. 持続的なベンダ人財の育成」の実現を下支えするベンダ工業の次世代づくりを目指し、「もっと<sup>2</sup> ONE BENDA ～もっともっとあなたとつながりたい～」をスローガンに働きがい向上プロジェクトに取り組みました。

従業員アンケート等から当社には「職場における人間関係のつながりが良い」という強みがある一方で、「スキルアップ能力開発が個人任せになっており成長が感じにくい」「ビジョンに対する説明がなく将来不安がある」「身体愁訴を訴える従業員が多くとても疲れている」といった課題があることがわかりました。そこで4つの施策に取り組むことにしました。



1. 従業員のキャリア開発 (もっともっと従業員を大切にしたい)
2. ベンダ工業の未来創造 (もっともっと従業員と語り合いたい)
3. ワクワク職場づくり (もっともっと従業員を尊重したい)
4. 快適作業環境の追求 (もっともっと現場に寄り添いたい)

### ●「働きがい向上」のための4施策

1つ目の「従業員のキャリア開発」としては、「①教育体系の整備と社内指導者の育成」「②DXを推進し知見を広げるためのリスキリング」などに取り組みました。今後は「広島県リスキリング推進宣言(※1)」に沿った取組も推進していく予定です。従業員からは「様々な知識が身につけられる教育体系になっていて楽しみ」「いずれは今以上の仕事にもチャレンジしたい」といった前向きなフィードバックが得られています。

2つ目の「ベンダ工業の未来創造」では、MVV(Mission/Vision/Value)の再定義、すなわち自社の将来像と未来をつくる「カルチャーの言語化」に取り組みました。100年に一度と言われる、自動車産業の大変革期を前に、未来創造に向けて必要なことは、従業員一人ひとりが自律的に考え行動することだと考えています。そこで社長をはじめとする役員と課長代理以上の幹部と次世代リーダーがプロジェクトチームを結成し「歴史を振り返る会」等のワークショップを実践。これから大切にしていきたい先人たちの精神や強み、カルチャーについて対話を重ねたことで、自社カルチャーの“伝道師”となるプロジェクトメンバー間に強い絆が生まれました。これからは、さらに社内全体へと共有・浸透させ、ベンダの未来を作り上げていきたいと考えています。

3つ目の「ワクワク職場づくり」では、「①新たな表彰制度の導入」「②CREWプログラム(※2)」「③オフサイトミーティング(※3)」の3つの施策に取り組むことで、心理的安全性の向上を目指しました。良い事例、良い行いをテーマとした参加型討議「CREWプログラム」では、従業員同士のコミュニケーションが促進され、お互いを知ることで距離感が縮まり、チームワークがより強化されました。「オフサイトミーティング」では従業員の誕生日に役員とのランチ会を開き、楽しい雰囲気の中で交流を深めることができました。

4つ目の「快適作業環境の追求」では、製造現場作業者の尊厳を高め、長期健康的な働き方を実現するため、作業環境の改善に取り組みました。まず作業者へのアンケート調査から、積み上げ・積み下ろし作業に身体愁訴の要因が多く含まれていることが判明したため、作業姿勢の改善、設備改造、設備導入などの活動を実施しました。設備改造では、焼き戻し炉の改造や切粉圧縮機の導入などを行い、作業負担の大幅軽減と環境負荷軽減などの効果が得られました。作業者からも、作業負担が減少し楽になったという喜びの声が上がっています。

## ●振り返り

【推進担当者】当社の働きがい向上の取組はまだまだスタートしたばかりです。本当にこの取組で良いのかと不安なこともあります。楽しそうな従業員の方の顔を見ると、これからも頑張ろうと思えます。今後も従業員の方の働きがいのため、そしてベンダ工業の持続的な成長のため、ひいては社会の持続的な発展に寄与するために、働きがい向上に取り組んでいきたいと思えます。

【社長】2020年からのコロナ禍に直面し、大きな影響を受けましたが、事業再構築や働き方改革の取組を進めたこともあり、売上高、営業利益ともに回復してきました。今後も「働きやすさ」「働きがい」の両輪での働き方改革の取組を継続するとともに、健康経営や脱炭素経営、DX推進と社内指導者の育成等を推進し、働きがいのある企業の実現とベンダ工業の次世代創りを目指して精進をしまいたいと考えております。



総務部 次長 松浦 和美 氏



代表取締役社長 八代 一成 氏

## 用語解説

※1 広島県リスクリ ング 推進宣言	県内企業等が、社内だけではなく、対外的にもリスクリ ングに取り組むことを宣言することで、 県内でのリスクリ ング推進の機運の向上を図ることを目的にし、広島県が実施している制度。
※2 CREW プログラム	CREW とは、“お互いを知るための対話”=“CREW セッション”を積み重ねていくプログラムで す。Civility (礼節、丁寧さ), Respect (敬意), Engagement (エンゲイジメント)、in the Workplace (職場) の略で、“お互いを知るための対話”= (“CREW セッション”) を積み重ねていくことで 職場の関係の質を向上させるプログラムです。
※3 オフサイトミーテ ィング	職場から離れた「非日常的な場所」でミーティングを行うことを指します。通常の会議やミーテ ィングのように分析や問題解決を主な目的とするのではなく、立場や役職を離れて率直な感情や 意見を出し合ってじっくり話し合うことで、チームの強化を図ることを目的とするものです。